# 北海道浮魚ニュース

令和 5 (2023) 年度 19 号 2023 年 11 月 10 日

### 道総研 水産研究本部 函館水産試験場

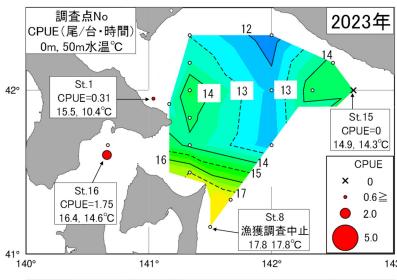
[URL] http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/kushiro/section/zoushoku/ukiuo\_news.html

### ◎道南太平洋スルメイカ調査結果

10月31~11月5日の期間、津軽海峡~道南太平洋で、函館水産試験場調査船金星丸(151トン、いか釣機5台、集魚灯20灯装備)により実施したスルメイカ調査の結果をお知らせします。

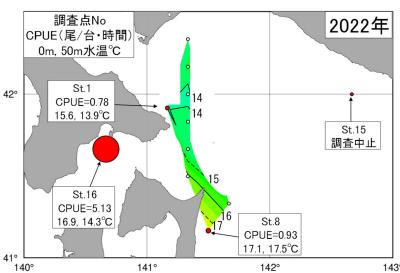
- ・スルメイカの分布密度は昨年および過去5年平均を下回った。
- ・体サイズは昨年より小さく、過去5年平均より若干大きかった。

## 1. 水温分布 (図1)



2023 年の漁獲調査点 4 点の表面水温は  $14.9 \sim 17.8 °$  (昨年の 3 調査点  $15.6 \sim 17.1 °$ ) でした。スルメイカの分布の目安となる深度 50m 層の水温は  $10.4 \sim 17.8 °$  (昨年  $13.9 \sim 17.5 °$ ) でした。

深度 50m 層の水温をみると、 津軽海峡東側から東方へ向かって  $14\sim17$   $^{\circ}$  の水塊が張り出していました。



#### 2. 流向流速分布(図2)

航行中の ADCP 観測により得られた深度 50m 層における流向流速と水温分布を照らし合わせると、津軽海峡から東西に伸びる等温線に沿って東へ向かう強い流れがありますが、東経 142° 付近では弱まっていました。そのため、津軽暖流は浦河沖まで大きく張り出してから南下する渦モードから下北半島の岸沿いに流れる沿岸モードへ移行中であると考えられました。

道総研では北海道周辺海域で、2ヶ月ごとに3隻の調査船を用いて定期海洋観測を行い、海況 速報を発信しています。以下のURLにて公開していますので、こちらもご参照下さい。

https://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/kankyou/sokuhou/

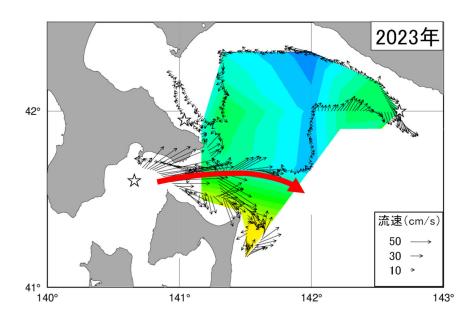


図 2 深度 50m 層における流向流速 (細い矢印) と水温分布図 赤い矢印は津軽暖流の模式図 ☆は漁獲調査点

#### 3. スルメイカの分布密度(図1、表1)

2023 年の漁獲調査点 3 ヵ所の CPUE(2 連式いか釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数)は  $0.00 \sim 1.75$ (2022 年  $: 0.78 \sim 5.13$ )で、CPUE が最も高かったのは函館沖(St. 16)でした。 3 調査点の CPUE はいずれも昨年の値を下回りました(昨年調査のなかった浦河沖(St. 15)を除く)。過去 5 年平均と比較すると、函館沖の CPUE は若干上回りましたが、木直沖(St. 1)と浦河沖は下回りました。函館沖の漁期を通した来遊量は 2023 年も少ないと考えられますが、11 月上旬における来遊量は 2022 年に続き近年の中では比較的多かったと考えられます。

表 1 11 月道南太平洋スルメイカ調査における CPUE (いか釣機 1 台 1 時間当たり漁獲尾数)の経年変化.過去 5 年平均は 2018~2022 年の平均値

		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	過去5年
調査点	場所	11/5-11/9	11/4-11/8	11/5-7,	11/1-11/6	11/1-11/4	10/31-11/5	平均
				15-16				
St. 1	木直沖	0.61	0. 20	0. 40	-	0. 78	0.31	0.50
St. 8	下北半島東沖	0.08	0. 14	0. 20	-	0. 93	_	0.34
St. 15	浦河沖	0.00	0. 14	ı	-	ı	0.00	0.07
St. 16	函館沖	0.12	1.83	0. 31	0.87	5. 13	1. 75	1. 65
平均CPUE		0. 20	0. 58	0. 30	0.87	2. 28	0.69	0.85

# 4. スルメイカの大きさ (図2)

2023 年のスルメイカの外套長は  $15\sim24$ cm (昨年  $12\sim28$ cm) の範囲にありました(図 2)。最も多く出現したイカの大きさ(モード)は 20cm であり、昨年(23cm)より小さく、過去 5 年平均(19cm)より若干大きいサイズでした。

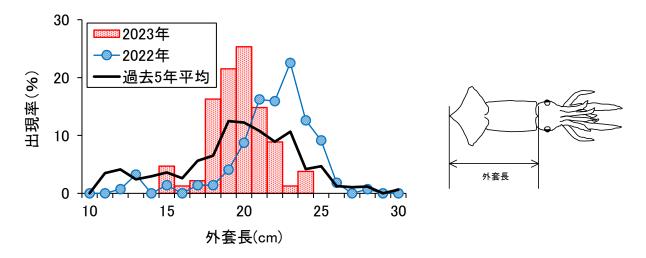


図 2 調査海域全体のスルメイカの外套長組成

※本調査の一部は水産資源調査・評価等推進委託事業により実施しました。

(函館水産試験場調査研究部 TEL: 0138-83-2893、FAX: 0138-83-2849)